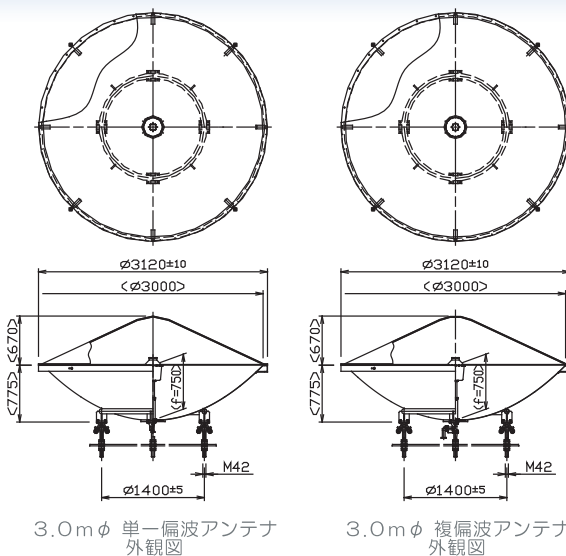
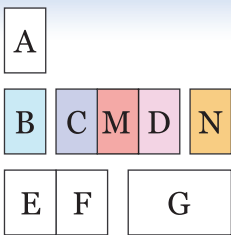


STL/TTL

広帯域7GHz帯パラボラアンテナ



3.0mφ 単一偏波 一次放射器



3.0mφ 複偏波 一次放射器

■ 概要 ■

広帯域7GHz帯パラボラアンテナは、C/D/Mバンド及びNバンドにて使用するSHF固定回線用として、デジタル方式送受信空中線規格（単一周波数帯）に対応したパラボラアンテナです。

偏分波器を使用した場合、B～Nバンドまでの広帯域使用が可能となり、2.0mφ～4.0mφのシリーズを揃え、中継距離・設置方法・共用方法等にあわせた選択が可能です。

■ 特徴 ■

1. 高指向性

一次放射器系にコルゲート放射器、給電部の広帯域化技術を副反射鏡系にグレゴリアン鏡面を使用し、C/D/M/Nバンド（6425～7125MHz / 7425～7750MHz）の帯域にて、デジタル方式送受信空中線規格（単一周波数帯）に適合する高指向性を実現しております。

2. 高交差偏波識別度

対向時の一次放射器をねじる調整により、アンテナ主方向±0.3度の範囲にて、32dB以上とする事が可能であり、複数のアンテナを使用して回線構築を行う際などに、干渉波低減を行う事ができます。

3. 共用化に最適（高帯域）

偏分波器を使用した場合、一方の偏波面はC/D/MバンドもしくはBバンドとしての使用が可能であり、共用器を使用する事でさらに複数チャンネル共用回線の構築に最適です。

■ 仕様 ■

偏波面	2.0mφ		3.0mφ		4.0mφ	
	単一偏波	複偏波	単一偏波	複偏波	単一偏波	複偏波
空中線利得	5900MHzにて	—	37.3dB以上	—	40.9dB以上	43.3dB以上
	6700MHzにて	38.4dB以上	—	42.0dB以上	—	44.4dB以上
	7600MHzにて	37.8dB以上	—	41.5dB以上	—	43.8dB以上
（但し、レドーム損失含む）						
周波数帯域	6GHz帯		5850～5925MHz		—	
	7GHz帯		6425～7125MHz		—	
	7.5GHz帯		7425～7750MHz		—	
V.S.W.R.	1.20以下					
交差偏波識別度	主方向±0.3度の範囲にて32dB以上					
一次放射器形式	ニヤフィールドグレゴリアン形					